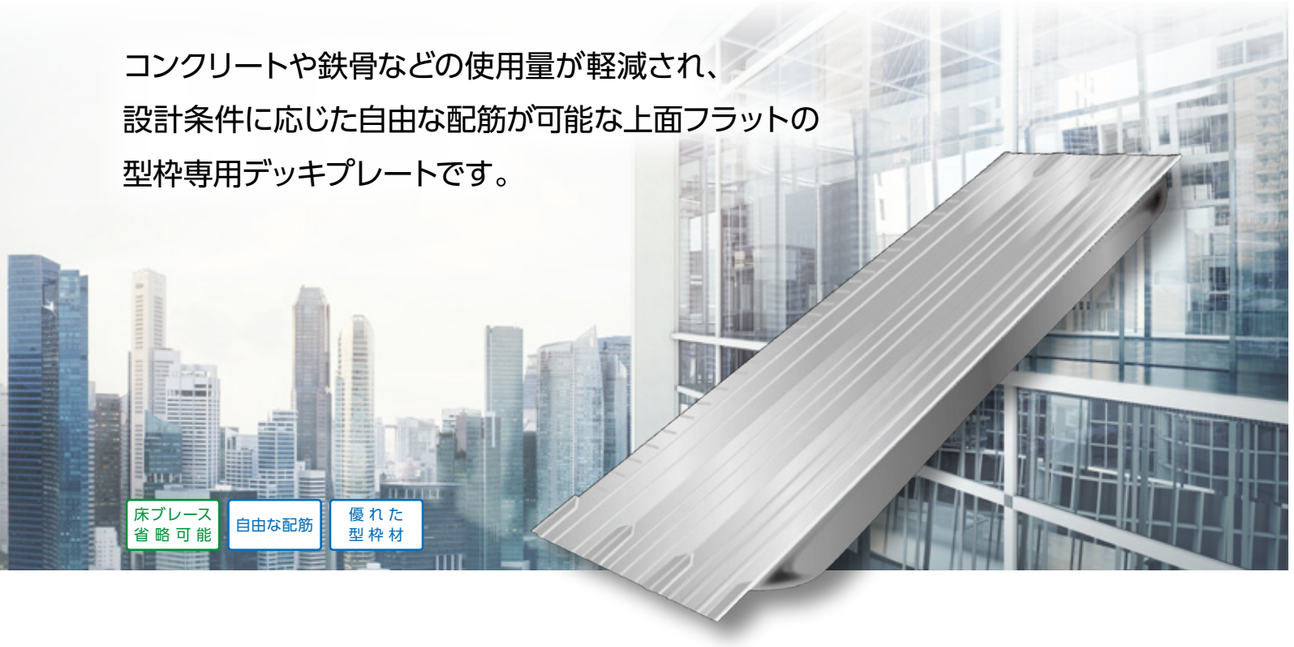
JF デッキ® ・ JF ウェイブデッキ®

☑（一社）公共建築協会による技術評価
評価第911-0100B003号（JF75,JF75W）

コンクリートや鉄骨などの使用量が軽減され、
設計条件に応じた自由な配筋が可能な上面フラットの
型枠専用デッキプレートです。



商品ラインアップ

	品名				リブ高さ	板厚
熊谷工場	JF75ME-07	-	-	JF100M-07	75 / 100	0.7
	JF75ME-08	JF75-08	JF100β-08	JF100M-08		0.8
	JF75ME-10	JF75-10	JF100β-10	JF100M-10		1.0
	JF75ME-12	JF75-12	JF100β-12	JF100M-12		1.2
	JF75ME-14	JF75-14	JF100β-14	JF100M-14		1.4
	JF75ME-16	JF75-16	JF100β-16	JF100M-16		1.6
神戸工場	JF75MW-07	-	-		75	0.7
	JF75MW-08	JF75W-08	JF75Wα-08			0.8
	JF75MW-10	JF75W-10	JF75Wα-10			1.0
	JF75MW-12	JF75W-12	JF75Wα-12			1.2
	JF75MW-14	JF75W-14	JF75Wα-14			1.4
	JF75MW-16	JF75W-16	JF75Wα-16			1.6

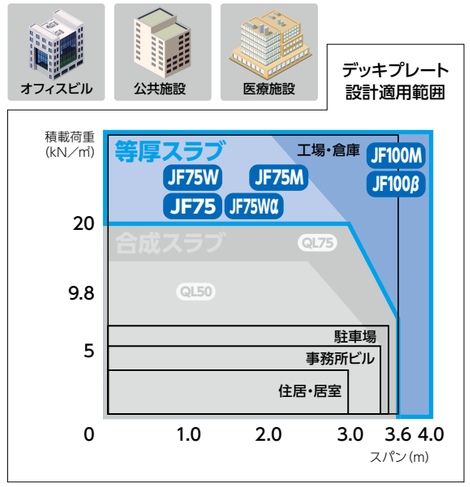
（mm）

■ JFデッキ　タイプ凡例

JF75 M W - 12 G
- JF75：リブ高さ
- M：ウェイブデッキ
- W：神戸工場製造
- 12：板厚
- G：表面処理　G:亜鉛めっき(Z12)　Z:亜鉛めっき(Z27)

熊谷工場…埼玉県熊谷市　神戸工場…兵庫県神戸市

用途例・設計適用範囲



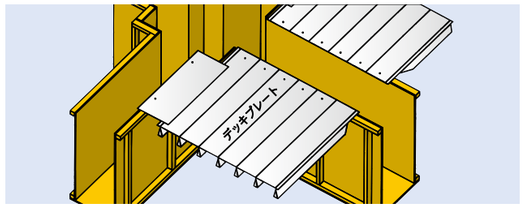
ページインデックス

特長	P.43-44
仕様	P.45-47
設計用資料	P.48-52
標準納まり	P.53-55
梱包	P.55
施工工程	P.55
Jプランクデッキ	P.57-58

特　長

1 床型枠用鋼製デッキプレート

床および屋根スラブのコンクリート打設時に従来の木製型枠等に代わり使用する鋼製の仮設型枠材料です。



2 工期短縮

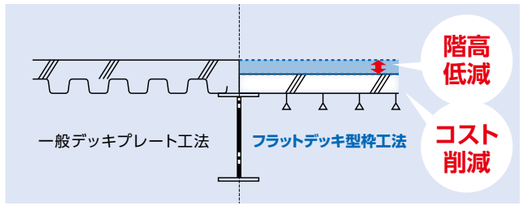
型枠支保工組立て及び解体が不要なため、大幅な工期短縮が可能となり、空間の有効利用もできます。



※型枠支保工の組立て及び解体が不要として

3 経済的

上面がフラットでデッキの高さが梁下に収まるため、階高が低くとれ、コンクリートや鉄骨などの使用量が軽減されます。



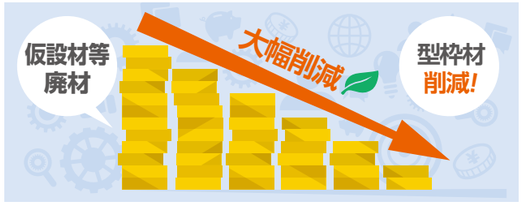
4 設計・配筋が自由

床型枠材のため、構造・耐火上制約がなく、開口位置の自由度が高くなります。設計条件に応じた自由な配筋が可能です。



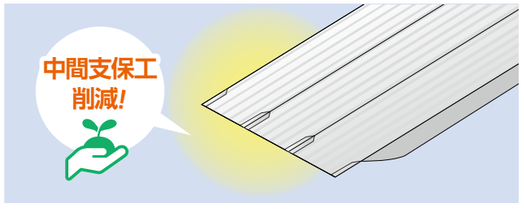
5 環境保全に寄与

型枠材の解体を必要としないため、仮設材等の廃材を大幅に削減できます。



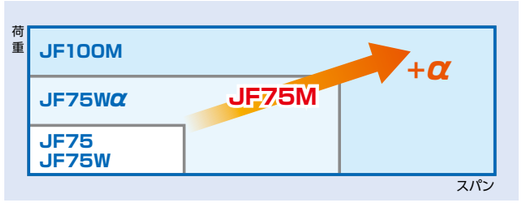
6 新形状JFウェイブデッキ

新製品のミゾ付きデッキプレートなども登場し、性能向上による中間支保工削減への取り組みも行われています。



7 幅広い設計適用範囲

豊富な商品ラインアップにより、ロングスパンや高荷重範囲に対応する等厚スラブの型枠として機能します。



8 快適な室内環境

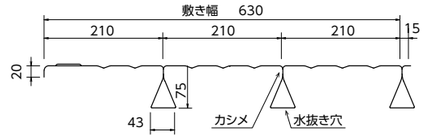
等厚スラブによる設計が可能なため、コンクリートボリュームが確保でき遮音性・振動性能を高められます。

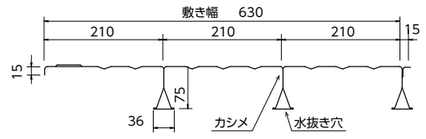


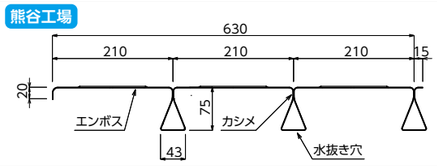
仕　様

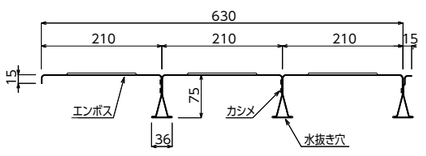
1 サイズ・質量・断面性能

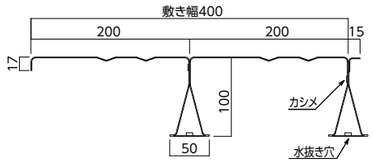
品　名	標準　形状・寸法	板厚 (mm)	製品質量 単位質量(kg/m) 亜鉛めっき Z12	製品質量 単位質量(kg/m) 亜鉛めっき Z27	製品質量 m²当たり質量(kg/m²) 亜鉛めっき Z12	製品質量 m²当たり質量(kg/m²) 亜鉛めっき Z27	断面性能(1m幅当たり) 全断面有効 断面2次モーメント I(×10⁴mm⁴/m)	断面性能(1m幅当たり) 有効幅考慮 断面係数 Z(×10³mm³/m)
JF75ME-07	熊谷工場	0.7	7.11	7.36	11.3	11.7	105	20.3
JF75ME-08		0.8	8.09	8.34	12.8	13.2	120	23.2
JF75ME-10		1.0	10.0	10.3	16.0	16.3	151	24.7
JF75ME-12		1.2	12.0	12.3	19.1	19.5	180	30.3
JF75ME-14		1.4	14.0	14.2	22.2	22.6	208	35.7
JF75ME-16		1.6	15.9	16.2	25.3	25.7	235	40.8
JF75MW-07	神戸工場	0.7	7.11	7.36	11.3	11.7	105	20.3
JF75MW-08		0.8	8.09	8.34	12.8	13.2	120	23.2
JF75MW-10		1.0	10.0	10.3	16.0	16.3	151	24.7
JF75MW-12		1.2	12.0	12.3	19.1	19.5	180	30.3
JF75MW-14		1.4	14.0	14.2	22.2	22.6	208	35.7
JF75MW-16		1.6	15.9	16.2	25.3	25.7	235	40.8
JF75-08	熊谷工場	0.8	7.95	8.19	12.6	13.0	120	18.7
JF75-10		1.0	9.88	10.1	15.7	16.1	150	24.4
JF75-12		1.2	11.8	12.1	18.7	19.1	180	29.4
JF75-14		1.4	13.7	14.0	21.8	22.2	206	34.4
JF75-16		1.6	15.7	15.9	24.9	25.2	232	39.3
JF75Wα-08	神戸工場	0.8	7.97	8.21	12.6	13.0	125	20.2
JF75W-08							120	18.7
JF75Wα-10		1.0	9.88	10.1	15.7	16.1	156	25.6
JF75W-10							150	24.4
JF75Wα-12		1.2	11.8	12.0	18.7	19.1	185	31.0
JF75W-12							180	29.4
JF75Wα-14		1.4	13.6	13.9	21.6	22.0	212	36.2
JF75W-14							206	34.4
JF75Wα-16		1.6	15.5	15.7	24.6	25.0	239	41.4
JF75W-16							232	39.3
JF100M-07	熊谷工場	0.7	5.42	5.60	13.5	14.0	250	37.3
JF100M-08		0.8	6.15	6.34	15.4	15.9	284	42.6
JF100M-10		1.0	7.62	7.81	19.1	19.5	352	46.6
JF100M-12		1.2	9.08	9.26	22.7	23.2	417	56.2
JF100M-14		1.4	10.5	10.7	26.3	26.8	482	65.9
JF100M-16		1.6	12.0	12.1	29.9	30.4	545	75.6
JF100β-08		0.8	6.15	6.34	15.4	15.9	271	34.0
JF100β-10		1.0	7.62	7.81	19.1	19.5	352	46.8
JF100β-12		1.2	9.08	9.26	22.7	23.2	420	56.4
JF100β-14		1.4	10.5	10.7	26.3	26.8	485	66.5
JF100β-16		1.6	12.0	12.1	29.9	30.4	550	76.2





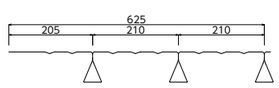




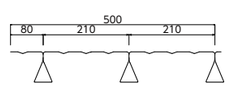


役物　形状・寸法

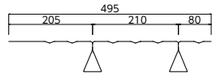
AOタイプ



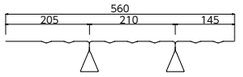
BOタイプ



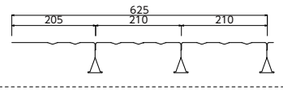
COタイプ



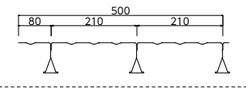
DOタイプ



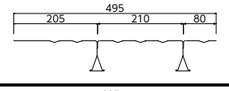
AOタイプ



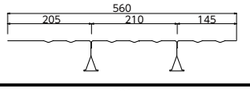
BOタイプ



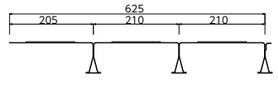
COタイプ



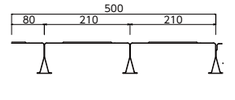
DOタイプ



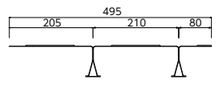
AOタイプ



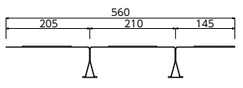
BOタイプ



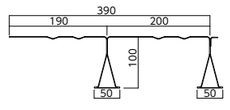
COタイプ



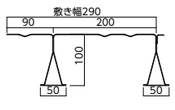
DOタイプ



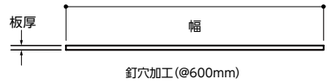
Sタイプ



S1タイプ

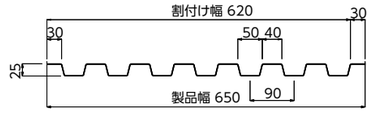


■JFPL（調整プレート） 熊谷工場 神戸工場



品 名	幅(mm)	板厚(mm)	製品長さ(mm)
JFPL200	200	1.2	1,000 2,000
JFPL300	300	1.2	
JFPL400	400	1.6	

■KP-08（キーストーンプレート） 熊谷工場 神戸工場



板厚 (mm)	製品質量 単位質量(kg/m) 亜鉛めっき Z12	製品質量 単位質量(kg/m) 亜鉛めっき Z27	製品質量 m²当り質量(kg/m²) 亜鉛めっき Z12	製品質量 m²当り質量(kg/m²) 亜鉛めっき Z27	断面性能(1m幅当たり) 全断面有効 断面2次モーメント I(×10⁴mm⁴/m)	断面性能(1m幅当たり) 有効幅考慮 断面係数 Z(×10³mm³/m)
0.8	5.89	6.07	(9.5)	(9.8)	12.2	9.8

※（　）内は割付け幅620mmの場合を示します。

仕　様

2 材質・規格

名 称	種類の記号	付着量記号	亜鉛の両面最小付着量	使用材料
亜鉛めっき	SGCC SGHC	Z12	120g/m²	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 ※2降伏点 205N/mm² 引張強さ 295N/mm²以上
		※1Z27	275g/m²	

※1 Z27に関しては事前にご相談ください。
※2 JF75Wα：235N/mm²　JF75M：235N/mm²
※使用するコイルメーカーにより色合いが異なる場合があります。

3 高耐食性鋼板

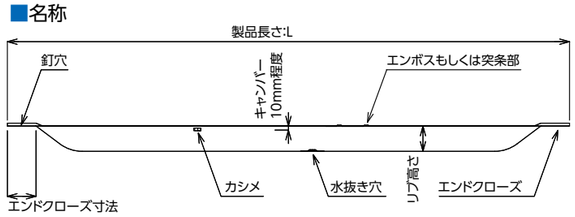
■JIS G 3317
JFEエコガル®
「溶融亜鉛−5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」

■JIS G 3323
「溶融亜鉛−アルミニウム
−マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯」

※JFEエコガルは、JFE鋼板（株）の登録商標です。
※エコガル製品については事前にご相談ください。

4 加工仕様

■名称



注：KP-08はエンドクローズド加工のみ

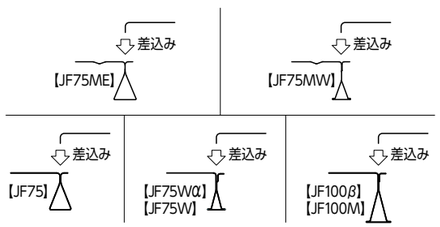
■製品長さ・エンドクローズ寸法

種類	製品長さ：L（mm）	エンドクローズ寸法(mm)
JF75ME	1,000～4,900	85,50,120
JF75MW		85,50
JF75		85,50,120
JF75Wα	1,000～5,700	85,50
JF75W	1,000～4,900	
JF100β	1,300～4,900	85,55
JF100M		
KP-08	350～1200	85

注：4,900mmを超える製品は事前にご相談ください。

■接合部詳細

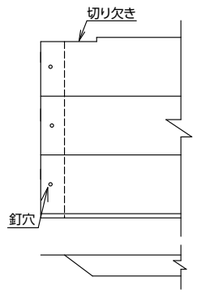
接合は、端部リブに次の先端を差し込みます。



■釘穴詳細

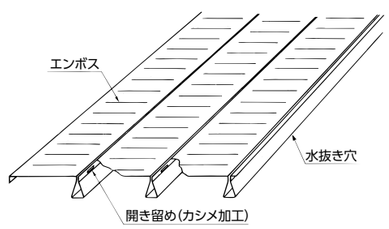
合板型枠に使用するときは、デッキプレート幅方向に釘穴加工を施します。

※JF75、JF75Mのエンドクローズ寸法50mmおよびKP08を除きます。



■エンボス、突条部加工、水抜き穴および開き留め

(1) 上フランジ面の平板部には、エンボス加工や突条部加工を施し剛性を高めてあります。
(2) リブ下面に水抜き孔を加工してあります。
(3) 開き留めのためリブ上部でカシメ加工を施してあります。
※(2)、(3)については製品ごとに一定のピッチで施されています。



JF75の例

設計用資料

1 JF75ME・JF75MW（一財）建材試験センター　品質性能確認（第20A0112号）

■スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］※表の施工状況の種類はⅠ類です。Ⅱ・Ⅲ類については、P.73をご確認ください。　（単位：mm）

建物の構造		S造（Ⅰ類：施工割増係数α=1.0）						RC造・SRC造（Ⅰ類：施工割増係数α=1.0）					
たわみ算定用係数C		C=1.5	C=1.3					C=1.5					
スラブ厚S(mm) ＼ 板厚t		0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	2,420	2,870	3,070	3,240	3,380	3,500	2,050	2,740	2,940	3,100	3,230	3,350
	130	2,420	2,820	3,020	3,190	3,330	3,450	2,050	2,700	2,890	3,050	3,180	3,300
	140	2,420	2,780	2,980	3,140	3,280	3,400	2,050	2,660	2,850	3,000	3,130	3,250
	150	2,420	2,740	2,930	3,090	3,230	3,350	2,050	2,620	2,810	2,960	3,090	3,200
	160	2,370	2,700	2,890	3,050	3,180	3,300	2,000	2,580	2,770	2,920	3,050	3,160
	170	2,320	2,660	2,850	3,010	3,140	3,260	1,960	2,550	2,730	2,880	3,010	3,120
	180	2,270	2,630	2,790	2,970	3,100	3,220	1,920	2,520	2,700	2,840	2,970	3,080
	190	2,220	2,600	2,730	2,940	3,070	3,180	1,880	2,490	2,660	2,810	2,930	3,040
	200	2,180	2,570	2,680	2,900	3,030	3,140	1,840	2,460	2,630	2,780	2,900	3,010
	250	2,000	2,390	2,460	2,720	2,880	2,980	1,690	2,330	2,460	2,630	2,750	2,850
	300	1,860	2,220	2,290	2,530	2,740	2,850	1,570	2,220	2,290	2,520	2,630	2,730
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	2,420	2,970	3,180	3,350	3,500	3,630	2,050	2,840	3,040	3,210	3,350	3,470
	130	2,420	2,920	3,130	3,300	3,450	3,570	2,050	2,800	3,000	3,160	3,300	3,420
	140	2,420	2,880	3,090	3,260	3,400	3,520	2,050	2,760	2,960	3,110	3,250	3,370
	150	2,420	2,840	3,050	3,210	3,350	3,480	2,050	2,720	2,910	3,070	3,210	3,320
	160	2,420	2,810	3,010	3,170	3,310	3,430	2,050	2,690	2,880	3,030	3,170	3,280
	170	2,420	2,770	2,970	3,130	3,270	3,390	2,050	2,650	2,840	2,990	3,130	3,240
	180	2,420	2,740	2,930	3,090	3,230	3,350	2,050	2,620	2,810	2,960	3,090	3,200
	190	2,380	2,710	2,900	3,060	3,190	3,310	2,010	2,590	2,770	2,920	3,050	3,170
	200	2,330	2,680	2,870	3,020	3,160	3,270	1,970	2,560	2,740	2,890	3,020	3,130
	250	2,150	2,540	2,640	2,870	3,000	3,110	1,820	2,430	2,610	2,750	2,870	2,980
	300	2,000	2,390	2,460	2,720	2,880	2,980	1,690	2,330	2,460	2,630	2,750	2,850

(1) 許容応力度：f_b = 235N/mm²　(2) 許容たわみ：δ_a = 1,000L/180+5.0mm　(3) 許容スパンの選択は、たわみ・曲げの値のうち、小さい方の値を採用する。
なお □部はたわみで決定する範囲を示す。　(4) 板厚0.7mmデッキの □部は計算に依らず、最大スパンをS造の際に2,420mm、RC造の際に2,050mmとする。

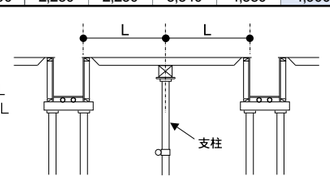
中間支保工を設ける場合の許容スパン表［施工時作業荷重1,470N/m²］

（単位：mm）

建物の構造		S造	SRC造・RC造	S造・SRC造・RC造		
スラブ厚S(mm) ＼ 板厚t		0.7	0.7	0.8	1.0	1.2
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	4,390	4,100	4,900	4,900	4,900
	130	4,160	4,100	4,900	4,900	4,900
	140	3,960	3,960	4,900	4,900	4,900
	150	3,780	3,780	4,900	4,900	4,900
	160	3,610	3,610	4,900	4,900	4,900
	170	3,460	3,460	4,900	4,900	4,900
	180	3,320	3,320	4,900	4,900	4,900
	190	3,190	3,190	4,770	4,900	4,900
	200	3,070	3,070	4,590	4,900	4,900
	250	2,580	2,580	3,870	4,900	4,900
	300	2,230	2,230	3,340	4,580	4,900

建物の構造		S造	SRC造・RC造	S造・SRC造・RC造		
スラブ厚S(mm) ＼ 板厚t		0.7	0.7	0.8	1.0	1.2
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	4,840	4,100	4,900	4,900	4,900
	130	4,680	4,100	4,900	4,900	4,900
	140	4,470	4,100	4,900	4,900	4,900
	150	4,270	4,100	4,900	4,900	4,900
	160	4,090	4,090	4,900	4,900	4,900
	170	3,930	3,930	4,900	4,900	4,900
	180	3,780	3,780	4,900	4,900	4,900
	190	3,640	3,640	4,900	4,900	4,900
	200	3,510	3,510	4,900	4,900	4,900
	250	2,970	2,970	4,450	4,900	4,900
	300	2,580	2,580	3,870	4,900	4,900

●支保工間隔：　L
スラブスパン：2L



(1) 表中の数値は、中間支保工を設ける場合にデッキプレートリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン2Lを示す。（許容支圧荷重はP.73を参照）
(2) □部はデッキプレート型枠の使用スパン長さの規定（1.0m～4.9m）により決まる。
(3) □部は計算に依らず、最大スパンをS造の際に4,840mm、SRC・RC造の際に4,100mmとする。
(4) RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超える時には中間支保工を設けることを原則とする。

設計用資料

2 JF75・JF75W（一社）公共建築協会 仕様※

※ JF75はJF75MEβ、JF75WはJF75MWβに変更になります。

■スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］※P.73でご確認ください。

（単位：mm）

建物の構造		S造、RC造・SRC造					RC造・SRC造		RC造・SRC造
施工状況の種類		Ⅰ類［施工割増係数：α=1.0］					Ⅱ類［α=1.25］		Ⅲ類［α=1.5］
たわみ算定用係数C		C=1.6					C=1.6		C=1.6
スラブ厚S(mm) ＼ 板厚t		0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	165	2,340	2,670	2,840	2,960	3,060	2,390	2,620	1,910
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	175	2,300	2,620	2,800	2,920	3,020	2,340	2,560	1,870
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	185	2,250	2,560	2,770	2,880	2,990	2,290	2,510	1,840
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	195	2,210	2,510	2,740	2,850	2,950	2,250	2,460	1,800
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	165	2,500	2,800	2,950	3,070	3,180	2,540	2,780	2,040
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	175	2,450	2,760	2,920	3,040	3,150	2,490	2,730	2,000
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	185	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,450	2,680	1,960
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,090	2,420	2,650	1,940
	195	2,360	2,690	2,850	2,970	3,070	2,400	2,630	1,920
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640

（1）許容応力度　：f_b = 205 N/mm²　（2）許容たわみ　：δ_a= 1,000L/180 + 5.0 mm

（3）許容スパンの選択は、たわみ・曲げの値のうち、小さい方の値を採用する。なお、□部はたわみで決定する範囲を示す。

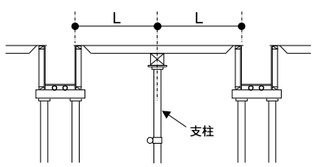
中間支保工を設ける場合の許容スパン表［施工時作業荷重1,470N/m²］

（単位：mm）

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数α		1.0			1.25		1.5
種類	スラブ厚 S mm	板厚 t mm					
		0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数α		1.0			1.25		1.5
種類	スラブ厚 S mm	板厚 t mm					
		0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

●支保工間隔：　L
スラブスパン：2L



（1）表中の数値は、中間支保工を設ける場合にデッキプレートリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン2Lを示す。（許容支圧荷重はP.73を参照）

（2）□部はデッキプレート型枠の使用スパン長さの規定（1.0m～4.9m）により決まる。

（3）RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超える時には中間支保工を設けることを原則とする。

3 JF75Wα（一財）建材試験センター　品質性能確認（第16A0700号）

■スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］※P.73でご確認ください。

（単位：mm）

建物の構造		S造、RC造・SRC造					RC造・SRC造		RC造・SRC造
施工状況の種類		Ⅰ類［施工割増係数：α=1.0］					Ⅱ類［α=1.25］		Ⅲ類［α=1.5］
たわみ算定用係数C		C=1.6					C=1.6		C=1.6
スラブ厚S(mm) ＼ 板厚t		0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	2,720	2,910	3,060	3,190	3,300	2,910	3,060	2,370
	125	2,700	2,890	3,040	3,160	3,280	2,880	3,040	2,340
	130	2,680	2,860	3,010	3,140	3,250	2,840	3,010	2,310
	135	2,660	2,840	2,990	3,110	3,230	2,810	2,990	2,280
	140	2,640	2,820	2,970	3,090	3,200	2,770	2,970	2,260
	145	2,620	2,800	2,950	3,070	3,180	2,740	2,950	2,230
	150	2,600	2,780	2,930	3,050	3,160	2,710	2,930	2,200
	155	2,580	2,760	2,910	3,030	3,130	2,680	2,910	2,180
	160	2,570	2,740	2,890	3,000	3,110	2,650	2,890	2,150
	165	2,550	2,720	2,870	2,980	3,090	2,620	2,870	2,130
	170	2,530	2,710	2,850	2,970	3,070	2,590	2,850	2,110
	175	2,520	2,690	2,830	2,950	3,050	2,570	2,820	2,090
	180	2,500	2,670	2,810	2,930	3,030	2,540	2,790	2,060
	185	2,480	2,660	2,790	2,910	3,020	2,510	2,760	2,040
	190	2,470	2,640	2,780	2,890	3,000	2,490	2,730	2,020
	195	2,450	2,620	2,760	2,880	2,980	2,470	2,710	2,000
	200	2,430	2,610	2,750	2,860	2,960	2,440	2,680	1,980
	250	2,230	2,470	2,600	2,710	2,810	2,240	2,460	1,820
	300	2,070	2,330	2,490	2,590	2,690	2,080	2,290	1,690
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	2,820	3,010	3,170	3,300	3,420	3,010	3,170	2,510
	125	2,800	2,990	3,150	3,280	3,390	2,990	3,150	2,480
	130	2,780	2,970	3,120	3,250	3,370	2,970	3,120	2,450
	135	2,760	2,950	3,100	3,230	3,340	2,950	3,100	2,420
	140	2,740	2,930	3,080	3,210	3,320	2,930	3,080	2,400
	145	2,720	2,910	3,060	3,180	3,300	2,910	3,060	2,370
	150	2,700	2,890	3,040	3,160	3,280	2,880	3,040	2,340
	155	2,680	2,870	3,020	3,140	3,260	2,850	3,020	2,320
	160	2,670	2,850	3,000	3,120	3,230	2,820	3,000	2,290
	165	2,650	2,830	2,980	3,100	3,210	2,790	2,980	2,270
	170	2,630	2,810	2,960	3,080	3,190	2,760	2,960	2,250
	175	2,620	2,800	2,940	3,060	3,180	2,740	2,940	2,220
	180	2,600	2,780	2,930	3,050	3,160	2,710	2,930	2,200
	185	2,590	2,760	2,910	3,030	3,140	2,680	2,910	2,180
	190	2,570	2,750	2,890	3,010	3,120	2,660	2,890	2,160
	195	2,560	2,730	2,880	2,990	3,100	2,640	2,880	2,140
	200	2,540	2,720	2,860	2,980	3,090	2,610	2,860	2,120
	250	2,390	2,580	2,720	2,830	2,940	2,410	2,640	1,950
	300	2,230	2,470	2,600	2,710	2,810	2,240	2,460	1,820

（1）許容応力度　：f_b = 235 N/mm²　（2）許容たわみ　：δ_a= 1,000L/180 + 5.0 mm

（3）許容スパンの選択は、たわみ・曲げの値のうち、小さい方の値を採用する。なお、□部はたわみで決定する範囲を示す。

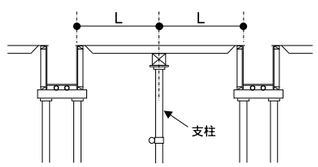
中間支保工を設ける場合の許容スパン表［施工時作業荷重1,470N/m²］

（単位：mm）

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数α		1.0			1.25		1.5
種類	スラブ厚 S mm	板厚 t mm					
		0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	5,440	5,700	5,700	5,700	5,700	4,740
	130	5,360	5,700	5,700	5,680	5,700	4,620
	140	5,280	5,640	5,700	5,540	5,700	4,520
	150	5,200	5,560	5,700	5,420	5,700	4,400
	160	5,140	5,480	5,700	5,300	5,700	4,300
	170	5,060	5,420	5,700	5,180	5,700	4,220
	180	4,960	5,340	5,620	5,080	5,580	4,120
	190	4,760	5,280	5,560	4,980	5,460	4,040
	200	4,580	5,220	5,500	4,880	5,360	3,960
	250	3,860	4,940	5,200	4,480	4,920	3,640
	300	3,340	4,660	4,980	4,160	4,580	3,340

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数α		1.0			1.25		1.5
種類	スラブ厚 S mm	板厚 t mm					
		0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	5,640	5,700	5,700	5,700	5,700	5,020
	130	5,560	5,700	5,700	5,700	5,700	4,900
	140	5,480	5,700	5,700	5,700	5,700	4,800
	150	5,400	5,700	5,700	5,700	5,700	4,680
	160	5,340	5,700	5,700	5,640	5,700	4,580
	170	5,260	5,620	5,700	5,520	5,700	4,500
	180	5,200	5,560	5,700	5,420	5,700	4,400
	190	5,140	5,500	5,700	5,320	5,700	4,320
	200	5,080	5,440	5,700	5,220	5,700	4,240
	250	4,440	5,160	5,440	4,820	5,280	3,900
	300	3,860	4,940	5,200	4,480	4,920	3,640

●支保工間隔：　L
スラブスパン：2L



（1）表中の数値は、中間支保工を設ける場合にデッキプレートリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン2Lを示す。（許容支圧荷重はP.73を参照）

（2）□部はデッキプレート型枠の使用スパン長さの規定（1.0m～5.7m）により決まる。

（3）RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超える時には中間支保工を設けることを原則とする。

設計用資料

4 JF100M （一財）ベターリビング　品質性能確認（第23-1032,1033,1068,1069号）

■スラブ厚さ別許容スパン早見表 [施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮]※P.73でご確認ください。　（単位：mm）

建物の構造		S造（Ⅰ類：施工割増係数 α=1.0）						RC造・SRC造（Ⅰ類：施工割増係数 α=1.0）					
たわみ算定用係数 C		C=1.4	C=1.3		C=1.2			C=1.5					
スラブ厚S (mm) ＼ 板厚 t		0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	3,360	3,740	3,990	4,310	4,500	4,670	3,290	3,580	3,820	4,020	4,190	4,350
	125	3,360	3,710	3,960	4,270	4,460	4,630	3,290	3,550	3,790	3,980	4,160	4,310
	130	3,360	3,680	3,930	4,240	4,430	4,590	3,290	3,520	3,760	3,950	4,130	4,280
	135	3,360	3,650	3,900	4,210	4,390	4,560	3,290	3,490	3,730	3,920	4,100	4,250
	140	3,360	3,630	3,870	4,180	4,360	4,520	3,290	3,470	3,700	3,890	4,070	4,220
	145	3,360	3,600	3,840	4,150	4,330	4,490	3,290	3,440	3,670	3,860	4,040	4,190
	150	3,360	3,570	3,810	4,120	4,300	4,460	3,290	3,420	3,650	3,840	4,010	4,160
	155	3,330	3,550	3,790	4,090	4,270	4,430	3,260	3,390	3,620	3,810	3,980	4,130
	160	3,310	3,520	3,760	4,060	4,240	4,400	3,240	3,370	3,600	3,780	3,950	4,100
	165	3,290	3,500	3,730	4,030	4,210	4,370	3,220	3,350	3,570	3,760	3,930	4,070
	170	3,270	3,480	3,710	4,000	4,180	4,340	3,200	3,320	3,550	3,730	3,900	4,050
	175	3,250	3,450	3,690	3,980	4,160	4,310	3,180	3,300	3,520	3,710	3,870	4,020
	180	3,230	3,430	3,660	3,950	4,130	4,290	3,160	3,280	3,500	3,690	3,850	3,990
	185	3,210	3,410	3,640	3,930	4,110	4,260	3,140	3,260	3,480	3,660	3,830	3,970
	190	3,190	3,390	3,620	3,910	4,080	4,230	3,120	3,240	3,460	3,640	3,800	3,950
	195	3,170	3,370	3,600	3,880	4,060	4,210	3,100	3,220	3,440	3,620	3,780	3,920
	200	3,150	3,350	3,580	3,860	4,030	4,180	3,080	3,200	3,420	3,600	3,760	3,900
	250	2,980	3,180	3,380	3,660	3,820	3,970	2,920	3,040	3,240	3,410	3,570	3,700
	300	2,820	3,010	3,140	3,440	3,650	3,790	2,790	2,900	3,100	3,260	3,410	3,540
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	3,360	3,880	4,140	4,460	4,660	4,830	3,290	3,710	3,950	4,160	4,340	4,500
	125	3,360	3,850	4,110	4,430	4,620	4,800	3,290	3,680	3,920	4,130	4,310	4,470
	130	3,360	3,820	4,070	4,400	4,590	4,760	3,290	3,650	3,900	4,100	4,280	4,440
	135	3,360	3,790	4,040	4,360	4,560	4,730	3,290	3,620	3,870	4,070	4,250	4,400
	140	3,360	3,760	4,020	4,330	4,530	4,690	3,290	3,600	3,840	4,040	4,220	4,370
	145	3,360	3,740	3,990	4,300	4,490	4,660	3,290	3,570	3,810	4,010	4,190	4,340
	150	3,360	3,710	3,960	4,270	4,460	4,630	3,290	3,550	3,790	3,980	4,160	4,310
	155	3,360	3,690	3,930	4,250	4,430	4,600	3,290	3,530	3,760	3,960	4,130	4,290
	160	3,360	3,660	3,910	4,220	4,410	4,570	3,290	3,500	3,740	3,930	4,110	4,260
	165	3,360	3,640	3,880	4,190	4,380	4,540	3,290	3,480	3,710	3,910	4,080	4,230
	170	3,360	3,620	3,860	4,170	4,350	4,510	3,290	3,460	3,690	3,880	4,060	4,210
	175	3,360	3,590	3,840	4,140	4,320	4,490	3,290	3,440	3,670	3,860	4,030	4,180
	180	3,360	3,570	3,810	4,120	4,300	4,460	3,290	3,420	3,650	3,840	4,010	4,160
	185	3,340	3,550	3,790	4,090	4,270	4,430	3,270	3,400	3,620	3,810	3,980	4,130
	190	3,320	3,530	3,770	4,070	4,250	4,410	3,250	3,380	3,600	3,790	3,960	4,110
	195	3,300	3,510	3,750	4,040	4,230	4,380	3,230	3,360	3,580	3,770	3,940	4,090
	200	3,280	3,490	3,730	4,020	4,200	4,360	3,210	3,340	3,560	3,750	3,920	4,060
	250	3,120	3,320	3,540	3,820	3,990	4,140	3,050	3,170	3,390	3,560	3,720	3,860
	300	2,980	3,180	3,380	3,660	3,820	3,970	2,920	3,040	3,240	3,410	3,570	3,700

(1)許容応力度：fb =235N/mm2　　(2)許容たわみ：δa =L/180+5.0mm
(3)許容スパンの選択は、たわみ・曲げの値のうち、小さいほうを採用する。なお、□ 部はたわみで決定する範囲を示す。
(4)板厚0.7mmデッキの□ 部は計算に依らず、最大スパンをS増の際に3,360㎜、RC・SRC造の際に3,290㎜とする。
(5)RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超えるときには中間支保工を設けることを原則とする。

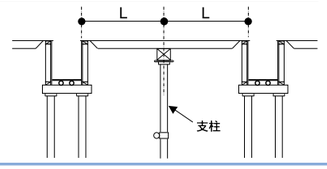
中間支保工を設ける場合の許容スパン表［施工時作業荷重1,470N/m²］

（単位：mm）

建物の構造		S造･SRC造･RC造				
種　類	スラブ厚 S mm ＼ 板厚 t mm	0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900
	130	4,140	4,900	4,900	4,900	4,900
	140	3,940	4,900	4,900	4,900	4,900
	150	3,760	4,900	4,900	4,900	4,900
	160	3,600	4,900	4,900	4,900	4,900
	170	3,440	4,900	4,900	4,900	4,900
	180	3,300	4,900	4,900	4,900	4,900
	190	3,180	4,750	4,900	4,900	4,900
	200	3,060	4,570	4,900	4,900	4,900
	250	2,570	3,850	4,900	4,900	4,900
	300	2,220	3,330	4,900	4,900	4,900

建物の構造		S造･SRC造･RC造				
種　類	スラブ厚 S mm ＼ 板厚 t mm	0.7mm	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	4,890	4,900	4,900	4,900	4,900
	130	4,660	4,900	4,900	4,900	4,900
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900
	150	4,250	4,900	4,900	4,900	4,900
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900
	170	3,910	4,900	4,900	4,900	4,900
	180	3,760	4,900	4,900	4,900	4,900
	190	3,620	4,900	4,900	4,900	4,900
	200	3,490	4,900	4,900	4,900	4,900
	250	2,960	4,440	4,900	4,900	4,900
	300	2,570	3,850	4,900	4,900	4,900

●支保工間隔：　L
スラブスパン：　2L



(1)表中の数値は、中間支保工を設ける場合にデッキプレートリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン2Lを示す。(許容支圧荷重はP.73を参照)
(2)□ 部はデッキプレート型枠の使用スパン長さの規定（1.3m～4.9m）により決まる。
(3)RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超える時には中間支保工を設けることを原則とする。

5 JF100β （一財）建材試験センター　品質性能確認（第15A2530号）

■スラブ厚さ別許容スパン早見表 [施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮]※P.73でご確認ください。　（単位：mm）

建物の構造		S造、RC造・SRC造					RC造・SRC造		RC造・SRC造
施工状況の種類		Ⅰ類［施工割増係数：α=1.0］					Ⅱ類［α=1.25］		Ⅲ類［α=1.5］
たわみ算定用係数 C		C=1.6					C=1.6		C=1.6
スラブ厚S (mm) ＼ 板厚 t		0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	3,460	3,740	3,950	4,120	4,270	3,670	3,950	2,870
	125	3,430	3,710	3,910	4,090	4,240	3,630	3,910	2,830
	130	3,400	3,680	3,880	4,050	4,210	3,580	3,880	2,800
	135	3,370	3,650	3,850	4,020	4,180	3,540	3,850	2,760
	140	3,340	3,630	3,820	3,990	4,140	3,490	3,820	2,730
	145	3,300	3,600	3,800	3,960	4,110	3,450	3,780	2,690
	150	3,260	3,570	3,770	3,930	4,080	3,410	3,730	2,660
	155	3,230	3,550	3,740	3,910	4,060	3,370	3,690	2,630
	160	3,190	3,520	3,720	3,880	4,030	3,340	3,650	2,600
	165	3,160	3,500	3,690	3,850	4,000	3,300	3,610	2,580
	170	3,120	3,480	3,670	3,830	3,980	3,270	3,580	2,550
	175	3,090	3,450	3,640	3,800	3,950	3,230	3,540	2,520
	180	3,060	3,430	3,620	3,780	3,930	3,200	3,500	2,500
	185	3,030	3,410	3,600	3,760	3,900	3,170	3,470	2,470
	190	3,000	3,390	3,580	3,740	3,880	3,140	3,440	2,450
	195	2,970	3,370	3,560	3,710	3,860	3,110	3,400	2,420
	200	2,940	3,350	3,540	3,690	3,830	3,080	3,370	2,400
	250	2,700	3,160	3,350	3,500	3,640	2,830	3,100	2,200
	300	2,510	2,940	3,200	3,350	3,480	2,630	2,880	2,050
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	3,580	3,880	4,090	4,260	4,420	3,880	4,090	3,040
	125	3,550	3,850	4,060	4,230	4,390	3,840	4,060	3,000
	130	3,530	3,820	4,030	4,200	4,360	3,790	4,030	2,960
	135	3,500	3,790	4,000	4,170	4,330	3,750	4,000	2,930
	140	3,480	3,760	3,970	4,140	4,300	3,710	3,970	2,900
	145	3,450	3,740	3,940	4,110	4,270	3,670	3,940	2,860
	150	3,430	3,710	3,910	4,090	4,240	3,630	3,910	2,830
	155	3,410	3,690	3,890	4,060	4,210	3,590	3,890	2,800
	160	3,380	3,660	3,860	4,030	4,190	3,550	3,860	2,770
	165	3,360	3,640	3,840	4,010	4,160	3,520	3,840	2,740
	170	3,330	3,620	3,810	3,980	4,130	3,480	3,810	2,720
	175	3,300	3,600	3,790	3,960	4,110	3,450	3,770	2,690
	180	3,260	3,570	3,770	3,930	4,080	3,410	3,730	2,660
	185	3,230	3,550	3,750	3,910	4,060	3,380	3,700	2,640
	190	3,200	3,530	3,730	3,890	4,040	3,350	3,670	2,610
	195	3,170	3,510	3,700	3,870	4,020	3,320	3,630	2,590
	200	3,140	3,490	3,680	3,850	3,990	3,290	3,600	2,570
	250	2,900	3,320	3,500	3,660	3,800	3,030	3,320	2,360
	300	2,700	3,160	3,350	3,500	3,640	2,830	3,100	2,200

(1) 許容応力度　：f_b = 205 N/mm²　　(2) 許容たわみ　：δ_a = 1,000L/180 + 5.0 mm
(3) 許容スパンの選択は、たわみ・曲げの値のうち、小さい方の値を採用する。なお、□ 部はたわみで決定する範囲を示す。

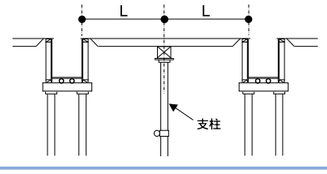
中間支保工を設ける場合の許容スパン表［施工時作業荷重1,470N/m²］

（単位：mm）

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数 α		1.0			1.25		1.5
種　類	スラブ厚 S mm ＼ 板厚 t mm	0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
普通コンクリート ρ=24kN/m³	120	4,350	4,900	4,900	4,900	4,900	4,350
	130	4,130	4,900	4,900	4,900	4,900	4,130
	140	3,930	4,900	4,900	4,900	4,900	3,930
	150	3,750	4,900	4,900	4,900	4,900	3,750
	160	3,580	4,900	4,900	4,900	4,900	3,580
	170	3,430	4,900	4,900	4,900	4,900	3,430
	180	3,290	4,900	4,900	4,900	4,900	3,290
	190	3,170	4,730	4,900	4,730	4,900	3,170
	200	3,050	4,550	4,900	4,550	4,900	3,050
	250	2,570	3,840	4,900	3,840	4,900	2,570
	300	2,220	3,320	4,400	3,320	4,400	2,220

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数 α		1.0			1.25		1.5
種　類	スラブ厚 S mm ＼ 板厚 t mm	0.8	1.0	1.2	1.0	1.2	0.8
軽量コンクリート ρ=20kN/m³	120	4,870	4,900	4,900	4,900	4,900	4,870
	130	4,640	4,900	4,900	4,900	4,900	4,640
	140	4,430	4,900	4,900	4,900	4,900	4,430
	150	4,240	4,900	4,900	4,900	4,900	4,240
	160	4,060	4,900	4,900	4,900	4,900	4,060
	170	3,900	4,900	4,900	4,900	4,900	3,900
	180	3,750	4,900	4,900	4,900	4,900	3,750
	190	3,610	4,900	4,900	4,900	4,900	3,610
	200	3,480	4,900	4,900	4,900	4,900	3,480
	250	2,960	4,410	4,900	4,410	4,900	2,960
	300	2,570	3,840	4,900	3,840	4,900	2,570

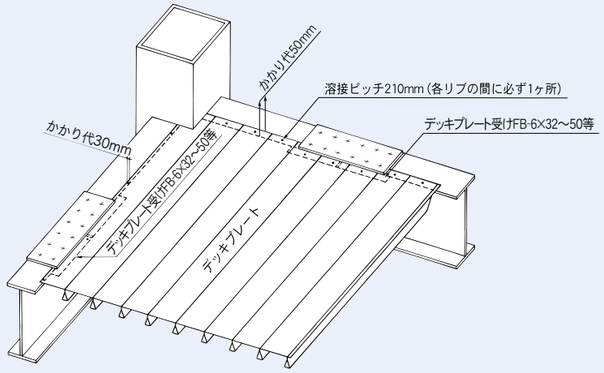
●支保工間隔：　L
スラブスパン：　2L



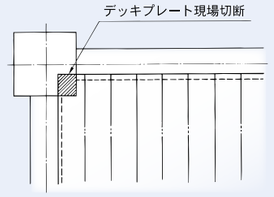
(1)表中の数値は、中間支保工を設ける場合にデッキプレートリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン2Lを示す。(許容支圧荷重はP.73を参照)
(2)□ 部はデッキプレート型枠の使用スパン長さの規定（1.3m～4.9m）により決まる。
(3)RC造またはSRC造において梁側板型枠にデッキプレートをのせかけて使用する場合、スラブスパンが3.0mを超える時には中間支保工を設けることを原則とする。

標準納まり

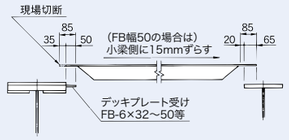
1 S造（鉄骨造）



柱部

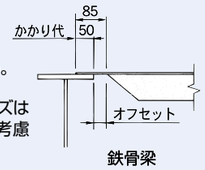


継手部分 梁接合部



※デッキプレート長手方向は500～900mmピッチで支持材（梁）と固定してください。

※デッキプレート受けFBのサイズはデッキのかかり代と納まりを考慮して決定してください。



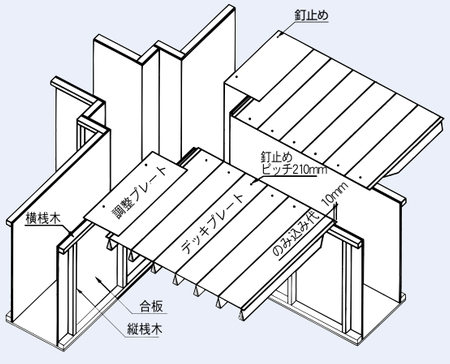
鉄骨梁

オフセットの長さ

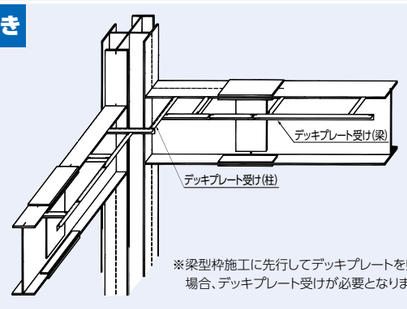
板厚	オフセットの長さ
0.7mm	40mm以下
0.8mm	〃
1.0mm	〃
1.2mm	〃
1.4mm	〃
1.6mm	〃

2 RC造（鉄筋コンクリート造）とSRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）

RC SRC



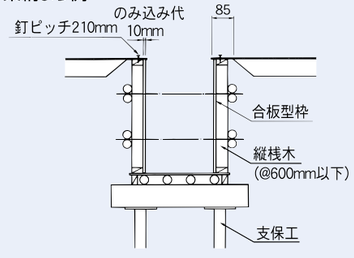
先行敷き SRC

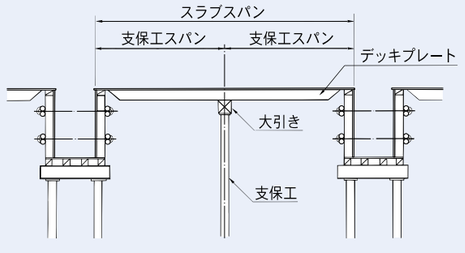


※梁型枠施工に先行してデッキプレートを敷き込む場合、デッキプレート受けが必要となります。

型枠取合い

梁納まり例

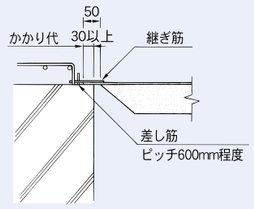


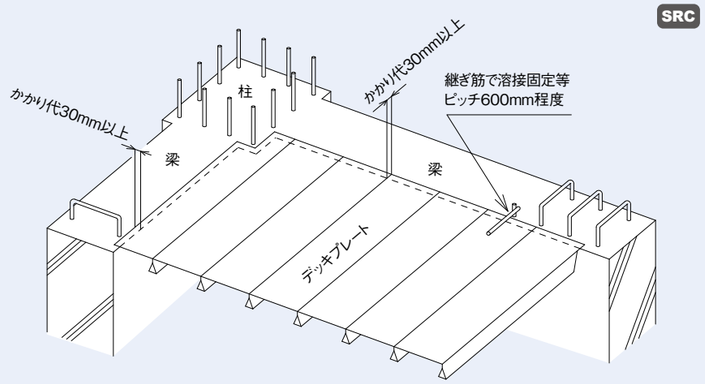


※デッキプレート長手方向は600mmピッチ以下で桟木に固定。
※スラブスパンが3.0mを超える場合は、原則として中間支保工を設けること。

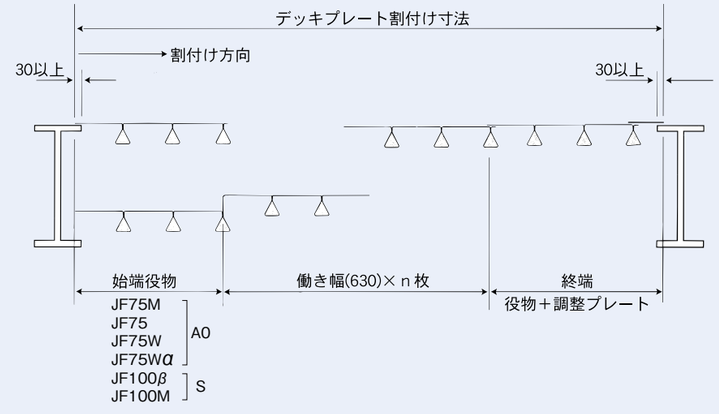
3 地中梁・PC梁

RC SRC



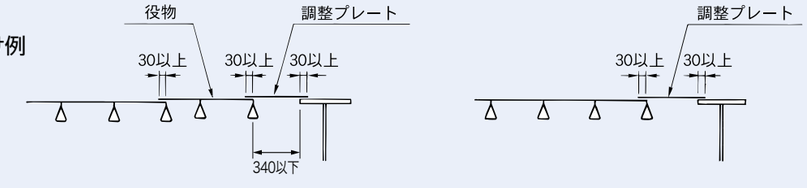


4 幅方向割付け



※ 幅方向の割付けは標準品（630幅）をベースに割付け、端部に役物あるいは調整プレートを使用します。

終端部割付け例

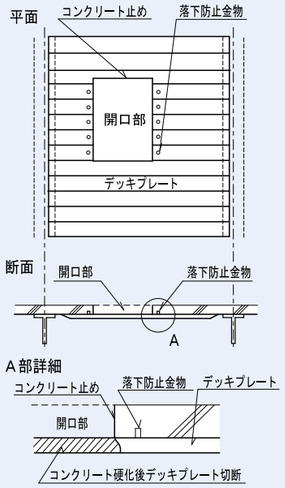


標準納まり

5 開口部処理の例

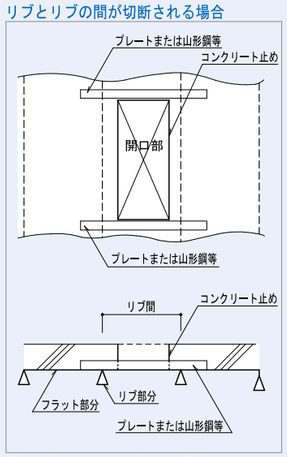
配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、予め型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。
開口部の大きさにより、フラットデッキとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける。

A コンクリート硬化後に開口部を切断



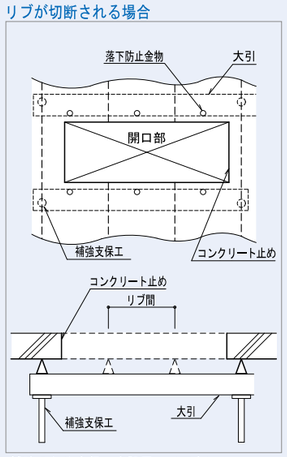
B コンクリート打設前に開口部を切断する例（止むを得ない場合）

リブとリブの間が切断される場合



開口・奥行き共150㎜を超える場合は
プレートまたは山形鋼等で補強が必要です。

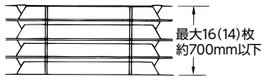
リブが切断される場合



補強のため支保工を設置して下さい。
落下防止金物取付。

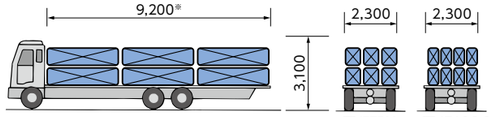
梱　包

1 梱包および運搬



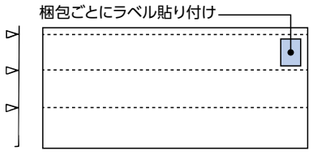
標準梱包（下面フラット）

※積荷全長が9.2mを超える場合は、事前にお問い合わせください。



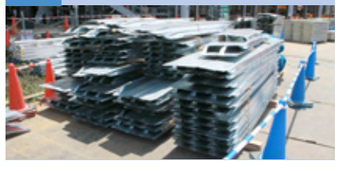
運搬荷姿例（10tトラックの場合）

2 マーキング

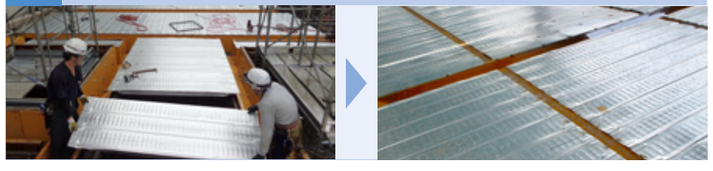


施工工程

1 使用部材搬入
納入材のチェック
荷降ろし（仮置き・揚重）※



2 デッキプレート敷込み（仮止め）
斜め切断他・調整板取付け



3 固定（本溶接）



4 コンクリート止め
スタッド打込み他



5 配筋敷込み
コンクリート打込み・養生
完了



※デッキ梱包を梁上に仮置きする際、最下部デッキの端部が変形・座屈などしないように十分注意して仮置きしてください。

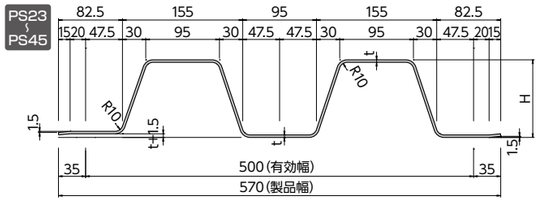
MEMO

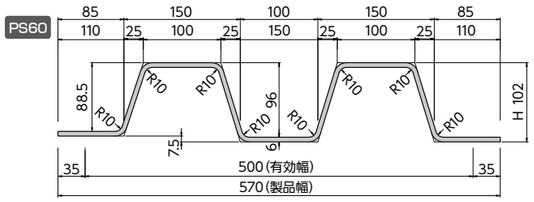
Jプランクデッキ



Jプランクデッキは、合理的な形状により
大きな断面剛性を有している
波形状の型枠用大型デッキプレートです。

1 断面形状 熊谷工場





2 仕様

■質量及び断面性能

品名	板厚 t (mm)	高さ H (mm)	断面積 A (cm²)	製品質量				断面性能(1m幅当たり)	
				単位質量(kg/m)		m²当たり(kg/m²)			
				めっきなし	亜鉛めっき(Z27)	めっきなし	亜鉛めっき(Z27)	断面2次モーメント I(x10⁴mm⁴/m)	断面係数 Z(x10³mm³/m)
PS23	2.3	98.3	19.02	14.9	15.2	29.8	30.4	518	105
PS27	2.7	98.7	22.29	17.5	17.8	35.0	35.6	606	123
PS32	3.2	99.2	26.36	20.7	21.0	41.4	42.0	717	145
PS40	4.0	100	32.85	25.8	26.1	51.6	52.2	892	178
PS45	4.5	100.5	36.88	29.0	-	58.0	-	1001	199
PS60	6.0	102	49.55	38.9	-	77.8	-	1364	267

※JIS G3352 (デッキプレート) には適合はしておりません。型枠材としてご使用ください。

■使用材料

使用材料		機械的性質				表面処理
記号	規格	降伏点 N/mm²	引張強さ N/mm²	板厚 mm	伸び %	
SS400	JIS G 3101	245以上	400〜510	5.0以下	21以上	黒皮品
				5.0超え	17以上	
SGH400	JIS G 3302	295以上	400以上	-	18以上	亜鉛めっき (Z27)

溝部の平均コンクリート厚さ(S)
S=5.0cm

※SS400材には防錆処理として、「溶融亜鉛メッキ (HDZ45) 」を施すことができます。
事前にお問い合わせください。

注1)スラブ厚は、デッキ山上からの厚さを示す。 注2)設計荷重:鉄筋コンクリート重量+デッキ自重+施工荷重 N/m² 注3)施工荷重:1,470N/m² 注4)許容応力度:σa =235N/mm² 注5)許容たわみ:δa =L/180かつ20mm以下

3 施工時許容スパン表 普通コンクリート ρ=24kN/m³

(単位:mm)

スラブ厚 S(mm)	PS23 板厚:t=2.3mm			PS27 板厚:t=2.7mm			PS32 板厚:t=3.2mm		
	単純支持	2連続支持	3連続支持	単純支持	2連続支持	3連続支持	単純支持	2連続支持	3連続支持
100	4,170	5,200	4,890	4,330	5,390	5,070	4,500	5,610	5,270
110	4,120	5,140	4,840	4,280	5,330	5,020	4,450	5,550	5,220
120	4,080	5,090	4,780	4,240	5,280	4,970	4,400	5,490	5,160
130	4,040	5,030	4,740	4,190	5,230	4,920	4,360	5,430	5,110
140	4,000	4,990	4,690	4,150	5,180	4,870	4,320	5,380	5,070
150	3,960	4,940	4,650	4,120	5,130	4,820	4,280	5,330	5,020
160	3,930	4,900	4,610	4,080	5,080	4,780	4,240	5,290	4,980
170	3,900	4,850	4,570	4,040	5,040	4,740	4,210	5,240	4,930
180	3,860	4,810	4,530	4,010	5,000	4,700	4,170	5,200	4,890
190	3,830	4,770	4,490	3,980	4,960	4,660	4,140	5,160	4,850
200	3,800	4,740	4,460	3,950	4,920	4,630	4,110	5,120	4,820
210	3,770	4,700	4,420	3,920	4,880	4,590	4,080	5,080	4,780
220	3,740	4,670	4,390	3,890	4,850	4,560	4,050	5,040	4,750
230	3,720	4,630	4,360	3,860	4,810	4,530	4,020	5,010	4,710
240	3,690	4,600	4,330	3,830	4,780	4,500	3,990	4,970	4,680
250	3,670	4,570	4,300	3,810	4,750	4,470	3,960	4,940	4,650
260	3,640	4,540	4,270	3,780	4,720	4,440	3,940	4,910	4,620
270	3,620	4,510	4,240	3,760	4,690	4,410	3,910	4,880	4,590
280	3,600	4,480	4,220	3,740	4,660	4,380	3,890	4,850	4,560
290	3,570	4,450	4,190	3,710	4,630	4,350	3,870	4,820	4,530
300	3,540	4,400	4,170	3,690	4,600	4,330	3,840	4,790	4,510

スラブ厚 S(mm)	PS40 板厚:t=4.0mm			PS45 板厚:t=4.5mm			PS60 板厚:t=6.0mm		
	単純支持	2連続支持	3連続支持	単純支持	2連続支持	3連続支持	単純支持	2連続支持	3連続支持
100	4,730	5,890	5,540	4,860	6,050	5,690	5,200	6,480	6,100
110	4,680	5,830	5,490	4,810	5,990	5,640	5,150	6,420	6,040
120	4,630	5,770	5,430	4,760	5,930	5,580	5,100	6,360	5,980
130	4,590	5,720	5,380	4,710	5,870	5,530	5,050	6,300	5,920
140	4,550	5,660	5,330	4,670	5,820	5,470	5,010	6,240	5,870
150	4,500	5,610	5,280	4,630	5,770	5,430	4,960	6,190	5,820
160	4,470	5,560	5,240	4,590	5,720	5,380	4,920	6,130	5,770
170	4,430	5,520	5,190	4,550	5,670	5,330	4,880	6,090	5,730
180	4,390	5,470	5,150	4,510	5,620	5,290	4,850	6,040	5,680
190	4,360	5,430	5,110	4,480	5,580	5,250	4,810	5,990	5,640
200	4,330	5,390	5,070	4,440	5,540	5,210	4,770	5,950	5,600
210	4,290	5,350	5,030	4,410	5,500	5,170	4,740	5,910	5,560
220	4,260	5,310	5,000	4,380	5,460	5,140	4,710	5,860	5,520
230	4,230	5,270	4,960	4,350	5,420	5,100	4,670	5,820	5,480
240	4,200	5,240	4,930	4,320	5,380	5,070	4,640	5,790	5,440
250	4,180	5,200	4,900	4,290	5,350	5,030	4,610	5,750	5,410
260	4,150	5,170	4,860	4,270	5,310	5,000	4,580	5,710	5,370
270	4,120	5,140	4,830	4,240	5,280	4,970	4,560	5,680	5,340
280	4,100	5,110	4,800	4,210	5,250	4,940	4,530	5,640	5,310
290	4,070	5,080	4,780	4,190	5,220	4,910	4,500	5,610	5,280
300	4,050	5,050	4,750	4,160	5,190	4,880	4,480	5,580	5,250

※上記以外の支持条件およびコンクリート種類の場合については、別途お問い合わせください。